

生物学を「学ぶ」とは？

地球上にはさまざまな生物がいます。そして生きています。どのように生物は出現し、どのような生物がいて、それらはどのような仕組みなののでしょうか。先人の努力によってその答えが明らかにされてきました。答えの蓄積は、社会にとって文明の発展のために必須ですし、日常生活にも役立つでしょう。その点で知識は「道具」ともいえます。学ぶとは、そういった「道具」を手に入れることじゃないでしょうか。キャンベル生物学には、生物学に関する様々な道具がデパートのように用意されています。どんな道具があるのか、眺めるだけでもいいかもしれませんし、もちろん道具を使うのもあります。生物学の学びは、きっとみなさんの力になるでしょう。

『キャンベル生物学 原書 11 版』監訳者 道上達男
(東京大学大学院総合文化研究科 教授)